

外壁に木材、ぬくもりのデザイン

新放送会館がオープン

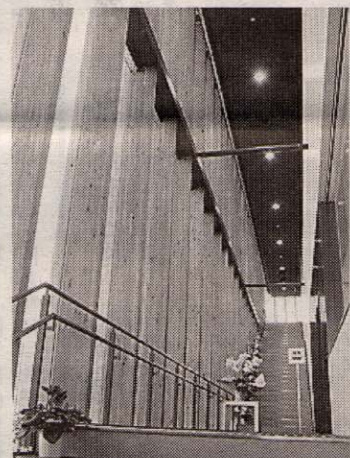
NHK
千葉放送局

NHK千葉放送局の新放送会館（千葉市）が完成し、10日にオープン記念式典が開催された。この建物は壁面緑化や太陽光発電でCO₂排出量を30%削減することを想定して設計されており、プロムナードに面するカーテンウォールに木材を使用することでぬくもりのあるファサードとしている。

NHK地放送局新放一朽化により建て替えが69平方分に地上3階送会館は放送会館の老一行われた。敷地約49建て、延べ床面積約5



外側には杉の保存処理材を使用



3階まで続く階段の側面にはカラ松集成材が使われている

200平方分の規模で建設された。設計は公募型プロポーサル方式を採用し、日建設計が最優秀設計者に選ばれ実施設計を担当した。正面の階段部分の壁面をカーテンウォールとし、自然通風などを生かした外気冷却・自然換気システムを採用、大階段の側面を高さ15分の大空間にして、暖気を屋根から排出する仕組みにした。

カーテンウォールの室内側にはカラ松の100×320の構造用集成材、外壁側には杉100角を施工。会館が沿岸部にあるためアルミ部材の保護材として杉保存処理材

を使用し、メンテナンスを考慮しピンを抜くことでアルミの芯材から簡易に取り外せるような工夫をしている。防災機能も強化し、免震構造を採用している。